



園だより 冬休み

その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。

ヨハネによる福音書 1 章 9 節

冬晴れの穏やかな日、保護者の皆様と共に学年それぞれのクリスマス礼拝が守られ、嬉しい祝会のときが過ごされましたこと、心から感謝申し上げます。

その日を迎えるまでの幼稚園での生活は、子どもたちのこの時期ならではの様々な心の動きがそこ此处で感じられたり、表現されたり。本当に豊かな恵みの毎日でした。

一人ひとりに届くそれぞれの「ひかり」を待ち望みながら少しずつ少しずつイエス様のお誕生の喜びを感じていく、そしてクリスマスのお祝いのとき、可愛い歌声を聞かせてくれた年少さん。今年も届いた昨年とは違う「ひかり」に想いを寄せつつ、お役を担ってクリスマスの喜びを伝える聖書のお言葉を皆で大切に伝え、素敵で讃美歌を届けてくれた年中さん、お祝では可愛い動物たちになって「ちいさなもみの木」のお話を楽しみ、クリスマスの喜びを表しました。

年長さんにとっては、一人ひとりが神様からの御言葉を幼稚園にいる人たち全員に、そしてお家の方々にもお伝えするという大切なメッセンジャーとしてのお仕事を担う特別なクリスマスでした。子どもたちがそれぞれの想いの中、神様のお仕事を大切に大切に担い、心から伝えてくれた御言葉は全ての人たちの心に温かな灯りを灯しました。三学年がそれぞれにクリスマスを感じ、その心に真のひかりを優しく輝かせながら過ごしたクリスマスまでの日々、保育者たちは子どもたちとアドヴェントクランツに灯りを灯しながら、神様がこの世に贈ってくださった「真のひかり」に喜びを持って感謝しつつ、その喜びを子どもたち一人ひとりと分かち合うことを願い、その想いが伝わっていくことで子どもたちの心に喜びを持って待つことの素晴らしさが染みわたり、優しさや人を想う温もりが膨らむ、このときだからこそ育まれる心の成長に想いを注ぎました。

二学期が終了いたしました。私たちが願った子どもたちの心の成長の温もりを感じつつお休みに入れますこと感謝いたします。

二学期の日々も、言い尽くせない保護者の皆様のお支えによって子どもたちとともに穏やかな豊かな園生活を過ごして来られましたこと、本当にありがとうございました。ご家族でのクリスマス、そして新しい良い年をお迎えになられますことお祈りいたします。来年も宜しく願い申し上げます。

園長 駿河 幸子

